

2022年度
(令和4年度)
千葉西地区協会
幹事理事会・理事総会
議案書

<書面表決>



(公財) 日本電信電話ユーザ協会
千葉西地区協会

第一号議案	2021年度事業報告について
第二号議案	2021年度収支報告について
第三号議案	2021年度会計監査報告について
第四号議案	2022年度事業計画(案)について
第五号議案	2022年度収支予算(案)について
第六号議案	2022年度役員等について
別添資料	千葉西地区協会理事名簿

注)本議案書に掲載しております「個人名・事業所名」につきましては、“順不同・敬称略”
とさせていただきます。

2021年度事業計画に基づき、ICT活用推進事業(各種セミナーやホームページ、メールマガジン、テレコムフォーラム誌等による情報発信)、テレコミュニケーション教育事業(コミュニケーション・ビジネスマナー等の各種研修、電話対応コンクール、電話対応技能検定等)を通じて、会員及び情報通信サービス利用者の利便増進に取り組んできました。具体的な実施状況は以下のとおりです。

1. 会員数状況等について

【1】会員の状況

会員の維持・拡大に関しては、HPやメールマガジン、テレコムフォーラム等によるイベントニュースやICTの最新情報の発信、ICTセミナー等による新規入会希望事業所へのアプローチ、役員・会員企業様からの紹介、電話対応コンクール参加を契機とした勧奨等により、4会員の入会となりました。一方で、昨今の経済情勢などにより、退会が106会員あったことから、結果的に102会員の純減となりました。

〔会員数状況〕

支部	地区協会	(旧地区)	2021年3月末	2022年3月末		
				入会数	退会数	合計
千葉	東地区	・千葉・市原・東金 ・成田・佐倉 ・茂原・夷隅 ・木更津・館山・鴨川 ・銚子・香取・旭・匝瑳	836	4	58	782
	西地区	・市川・浦安行 ・船橋・習志野・八千代・鎌ヶ谷白井 ・柏・流山・我孫子・沼南 ・野田・関宿 ・松戸	523	0	48	475
		合計	1,359	4	106	1,257

2. ICT活用推進事業について

【1】ICTセミナー等実施状況

ICTセミナーについては、新型コロナウイルス感染予防および会員サービス向上、運営効率化の観点より、昨年度に引き続きオンラインによる対応を行いました。また、オンラインを活用し全国各支部のセミナーを提供しました。

〔新春セミナー実施状況〕

主催	実施概要	参加者数		2021年度振り返り等
		2020年度	2021年度	
支部	「新春講演会・抽選会」 2022年2月10日(木) ・第一部 水野悠美子 「中小企業向けテレワーク導入推進～今だからテレワーク」 ・第二部 林家木久蔵 「コミュニケーション術、初笑い」 ・特別講演 京谷和幸 「車いすバスケットで夢をかけろ～元Jリーガーの挑戦」 ・抽選会 講演者のサイングッズ等お楽しみ抽会！	オンライン 65	オンライン 128	● 申込者数128名(前年度65名) ● 開催形式等 ・来場+オンライン開催から、オミクロン株感染急拡大による影響(まん延防止重点措置等)踏まえ急遽オンラインのみ開催に変更 ・講演の幕間を活用、協会特典PR(標的型攻撃メール訓練サービス、eラーニング)を実施 ● 集客施策 HP、メルマガ、FAX、DM等により周知・告知 ● 地区開催はコロナ禍により開催見送り(中止含む)

2021年度事業報告について

〔全国各支部との共催による主なオンラインセミナー実施状況〕

主催	開催時期	テーマ、セミナー概要等	特別講演等 講師	千葉 参加者
近畿	2021年8月31日	大前さんに学ぼう	大前研一	6
関東	2021年11月12日	〔第1部〕「サイバー空間におけるセキュリティの現状と対策」 〔第2部〕「中小企業におけるICT補助金・助成金活用術」 〔第3部〕橋下徹の一刀両断！時局を斬る！	橋下徹	61
茨城	2021年12月10日	爆笑オンライン！『てれこむゆーぞ寄席（Zoom配信）』	—	8
近畿	2022年1月13日	新春特別企画「大前さんに学ぼう」	大前研一	17
神奈川	2022年2月15日	〔第1部〕電子帳簿保存法改正とペーパーレス化のポイントを徹底解説 〔特別講演〕いつでもチャレンジ精神で！～話すことの大切さ～	草野仁	9
東京	2022年2月18日	〔第1部〕『サイバー空間における脅威の現状とセキュリティ対策』 〔第2部〕『DXへの第一歩!! 身近なデジタル化のすすめ』 〔特別講演〕コロナ禍でも業績を伸ばしている経営者による特別講演 『夢持ち続け日々精進』	高田明	15
茨城	2022年2月24日	〔第1部〕SDGsは「次世代企業」への扉 〔特別講演〕2022年 この国の政治経済の行方	伊藤惇夫	9
埼玉	2022年2月24日	〔第1部〕サイバー犯罪の現状と対策 <埼玉県警察本部> 〔特別講演〕俳句の力 ことばの力	夏井いつき	7
近畿	2022年3月17日	大前さんに「モビリティ革命～企業が大変革時を勝ち抜く条件～」を学ぼう	大前研一	11

【2】ICTに関する情報発信

ホームページ、メールマガジン、テレコムフォーラム誌等を活用し、ICTを事業発展に役立てた実例を紹介する等、会員及び情報通信サービス利用者にお役立ていただける情報発信を実施しました

【3】標的型攻撃メール訓練サービス

会員の皆様を対象に「標的型攻撃メール予防訓練サービス」（無料）を提供しています。
「セキュリティ対策」のはじめの一歩として、セキュリティへの意識を向上、対応力を高めていただくため、HPやメルマガ、DM等で案内を行い、2021年度は5社がご利用されました。

	2020年度	2021年度	増減
標的型攻撃メール訓練	0社	5社 42ID	+5社 42ID

【4】eラーニングサービス

会員の皆様を対象に「eラーニング」（無料）を提供しています。
講座内容は、新入社員向けから若手・中堅社員向け、育成担当者向け、社員共通向け等、様々なコンテンツを用意、テストでの理解度チェックも可能です。会員企業の人材育成の一助としていただくためHPやメルマガ、DM等で案内を行い、2021年度は7社がご利用されました。

	2020年度	2021年度	増減
Eラーニング	3社 7ID	7社 21ID	+4社 14ID

2021年度事業報告について

3. テレコミュニケーション教育事業

【1-1】電話対応コンクール:千葉県内の研修～県大会まで

各企業・団体等の社員の電話対応と対応技能のレベルアップを通じて、顧客満足経営の推進を図るための人材育成を目的として毎年実施しています。

参加者は、毎年設定される競技問題に取り組み、電話対応サービスの技能を競い合います。

項目	実施概要	参加者等		2021年度振返り等
		2020	2021	
研 修	(1)電話対応コンクール問題解説研修 (5/7～6/30) YouTube視聴	WEB 128名	WEB 82名	● 地区大会参加者は、コロナ禍による参加見送りが昨年に引続き継続、参加者数108名 ● 事前研修参加者は、新たに追加したスクリプト研修(66名参加)により累計199名参加 ● コロナ禍により昨年度に引続きリモート開催。今年度は、競技模様をライブ配信することで、競技会の臨場感や選手と職場の一体感を醸成。参加事業所からは、対応模様が共有化され、新たな気づきによる品質向上に繋がると好評 ● 開催方法は、アフターコロナ後もリモート等の活用による効果的・効率的な運営を推進 ● 休憩時間を使い協会PRチラシ配信による入会訴求を実施
	(2)電話対応コンクールスクリプト研修 (5/19～21)	-	3回 66名	
	(3)地区大会前の直前研修 (地区大会収録前・電話個別指導) (6/22～7/8)	13回 120名	13回 99名	
	(4)県大会前特別研修(9/23～10/1)	5回 30名	5回 31名	
	(5)全国大会前特別研修	-	1回 3名	
	合 計※(1)研修は除く	18回 150名	22回 199名	
大会	【地区大会】事前収録により実施 (8/4～7)	121名	108名	-
	【県大会】リモート方式により実施(9/30)	30名	31名	
	【全国大会】リモート開催(11/20)	1名	1名	

【1-2】電話対応コンクール:千葉県大会結果

2021年度は、中村綾菜様(株式会社NTT東日本-南関東)が優勝、千葉県知事賞を受賞し県代表として全国大会に出場しました。2021年度より新人賞を新設するとともに、入賞者に対して後援いただいた株式会社ドコモCS千葉支店様よりドコモ賞を提供いただきました。

入賞	事業所名	出場者名	出場地区
優勝	株式会社NTT東日本-南関東 テクニカルサービスセンタ	中村 綾菜	千葉東
準優勝	株式会社ホテルオークラ東京ベイ	平井 泉	千葉西
優秀賞	株式会社NTT東日本-南関東 テクニカルサービスセンタ	佐藤 昌代	千葉東
優秀賞	株式会社ニュー・オータニ ホテルニューオータニ幕張	三木 友穂	千葉東
優秀賞	株式会社ホテルオークラ東京ベイ	澤田 幸枝	千葉西
優秀賞	株式会社NTT東日本-南関東 テクニカルサービスセンタ	佐久間 由紀	千葉東
優秀賞	株式会社千葉興業銀行 コンタクトセンター	小野 美佐	千葉東
優秀賞	佐川急便株式会社 千葉営業所	佐久間 紀子	千葉西
優秀賞	株式会社NTT東日本-南関東千葉事業部 CRセンタ	白土 明美	千葉東
優秀賞	君津信用組合	白石 七瀬	千葉東
新人賞	アートコーポレーション株式会社	池田 牧子	千葉西

2021年度事業報告について

【2】ビジネスマナー等研修参加状況

企業人・社会人としての心構え、ビジネスマンとしての接客・接客・言葉使い、電話応対における基礎力向上、お客様からのクレームに対する対応スキルの向上を目的とした各種研修等を実施しました。

区分	研修区分	実施概要	参加者数 ()は参加企業数		2021年度振返り等
			2020年度	2021年度	
継続	①フレッシュマン (YouTube録画視聴)	新人社員向けセミナー	WEB 192名 (39)	WEB 184名 (51)	例年、好評をいただいております、2021年度は参加事業所数が増加
	②ビジネスマナー (Zoom相互ライブ)	マナーの習得、名刺交換、美しいお辞儀、感じのよい挨拶	1回 11名 (9)	1回 21名 (12)	昨年に引き続き、Zoom相互ライブ視聴で7/9実施
	③クレーム電話対応 (Zoom相互ライブ)	クレーム心構え、クレーム対応の言葉使い、グループワーク	1回 24名 (9)	2回 51名 (23)	研修数を増やし開催。Zoom相互ライブ視聴で7/16、12/9実施
	④リーダーシップ 指導力強化 (Zoom相互ライブ)	中堅社員、もしくは指導者としての能力と自発性を引き出すコーチング	1回 17名 (8)	2回 42名 (19)	研修数を増やし開催。Zoom相互ライブ視聴で12/7実施
	⑤職場を良くするコミュニケーション	職場を居心地よくするためのビジネスコミュニケーションスキルの習得	0回 0名 (0)	2回 34名 (27)	2021年度は研修内容をブラッシュアップ。Zoom相互ライブ視聴で1/28、2/16実施
	⑥アサーティブ	互いを尊重した上で、自分の要望や意見を相手に伝える等	0回 0名 (0)	2回 25名 (19)	新設。Zoom相互ライブ視聴で1/12、1/31実施
新規	⑨パペットトーク研修 (新設)	新人向け:「自分の言葉が職場環境を整える」 リーダー向け:「部下のやる気を引き出す言葉かけ」	—	—	2022年度新設予定
合 計 (①研修除く)			3回 52名 (26)	9回 173名 (100)	オンラインによるセミナーは定着化

【3】電話応対技能検定取り組み状況

電話応対のエキスパートとして即戦力になり得る社内指導者の育成を目的とした検定制度で、支部では4級受検者の受入れを行っています。2021年度は7名(開催4回)の受検がありました。

[検定4級受検者数]

	2020年度	2021年度	増減
千葉	9名	7名	▲2

4 . そ の 他

項目	2021年度振返り等
旧地区の銀行口座の統廃合	地区統廃合化により、10地区銀行口座を支部・東西地区の3口座に整理 (2022年2月25日実施)
会費請求業務の外部委託化	会員様の利便性向上等にむけ、会費請求業務の外部委託化(NTTファイナンス請求)を実施。(ゆうちょ銀行、郵便局、コンビニエンスストアでの支払いが可能)
地区理事会総会を书面開催	理事会・総会を旧地区(10地区)毎に书面開催

自 2021年4月 1日
至 2022年3月31日
(単位:円)

【収入の部】

項目	①2021年度 予算額	②2021年度 決算額	②-① 増減額	主な要因等
会員受取会費	2,398,000	2,375,000	▲ 23,000	会員減
事業収入			0	—
雑収入	11	16	5	—
小計	2,398,011	2,375,016	▲ 22,995	
前年度繰越金	3,463,343	5,006,738	1,543,395	—
A. 収入合計	5,861,354	7,381,754	1,520,400	—

【支出の部】

区分	項目	①2021年度 予算額	②2021年度 決算額	②-① 増減額	主な要因等
事業費	電話応対競技会	228,864	178,004	▲ 50,860	リモート対応による費用削減
	セミナー費等	0	80,000	80,000	地区によるビジネスマナー研修実施
	施設見学会費	0	0	0	
	組織強化費/訓練費	0	0	0	
	B. 小 計	228,864	258,004	29,140	—
管理費	会 議 費	73,439	64,222	▲ 9,217	リモート、郵送対応による費用削減
	諸 経 費	85,583	78,060	▲ 7,523	リモート、郵送対応による費用削減
	減価償却費			0	
	C. 小 計	159,022	142,282	▲ 16,740	—
D. 表彰費		-	-	0	対象無
内部取引	上部費	556,751	493,495	▲ 63,256	本部通知額
	法人税等分担費			0	—
	消費税分担費	36,980	38,226	1,246	本部通知額
	E. 小 計	593,731	531,721	▲ 62,010	—
F費用合計=B+C+D+E		981,617	932,007	▲ 49,610	—
G繰越資産=A-F		4,879,737	6,449,747	1,570,010	

2021年度会計監査報告について

会計監査報告書

公益財団法人日本電信電話ユーザ協会千葉西地区会則第12条4項に基づき、2021年度(2021年4月1日～2022年3月31日)の公益財団法人日本電信電話ユーザ協会千葉支部の財務状況について、出納簿・証拠書類・預金通帳・現金等を照合した結果、適正且つ正確であることを認めました。

また、業務についても適正に執行されていると認めましたので、本書をもってご報告いたします。

以上

2022年6月8日

監事会計

中山 政明 

(松戸商工会議所 会頭)

2022年6月7日

監事会計

小田山 博史

(柏商工会議所 会頭)

代理

西岡 克美 

(柏商工会議所 総務部総務課)

2022年度事業計画(案)について

- 地域社会に対し普く広く協会事業のプレゼンス向上に向け「ICT活用推進事業」「テレコミュニケーション教育事業」を推進、地方創生、地域活性化に寄与した事業展開を目指す
- ICT活用推進事業については、様々な問題解決に向けたDX導入や働き方改革等を更に推進したICT活用事例等紹介により、課題解決にお役立ていただける情報発信を積極的に実施
- テレコミュニケーション教育事業は、電話対応コンクール、各種コミュニケーション研修、電話対応技能検定等の事業を展開、より多くの方にご活用いただけるように広く事業紹介及び参加勧奨を実施

取組み項目	具体的な取組み
1. ICT活用推進事業	地域や中小企業のDX導入に資するICT活用推進セミナー開催、導入事例等の情報発信を展開。セミナー等各事業のPR・周知はタイムリー且つ計画的に実施 【1】全国各支部とのオンライン共催(相乗り)によるセミナー拡大 全国の各支部が実施するセミナーを共催等行いオンラインにより提供 【2】新春講演会(第4四半期) オンラインによる著名人+ICTセミナー実施 【参加者目標 150名】 ・アーカイブ配信利用による視聴機会の確保・拡大 ・コロナ禍状況踏まえつつ、オンライン中心の運営を指向 【3】商工会議所様等との連携(共催、後援)によるICTセミナー実施 ※旧地区講演会・セミナーとの連携
2. テレコミュニケーション教育事業	「新入社員研修」「ビジネスマナー研修」、「電話技能検定」、「電話対応コンクール」を一連の育成事業として捉え、育成サイクルの循環構築を目指す。各事業のPR・周知はタイムリー且つ計画的に実施 【1】ビジネスマナー等研修 フレッシュマン、ビジネスマナー、クレーム電話対応、リーダーシップ強化、職場を良くするコミュニケーション、アサーティブコミュニケーションの各研修に加え、「アンガーマネジメント」再開、「ペップトーク」新設、および開催数増加により、更なる充実化 ※商工会議所との共催・後援による開催検討 【2】電話技能検定(もしもし検)の受検機会拡大 支部主催の受検機会の拡大(四半期単位(4回)⇒2か月単位(6回)に拡大) 【3】電話対応コンクール 2021年度同様にリモートによる録音・審査、大会模様のライブ配信等を継続 ・過去参加企業等への勧奨実施 ・電コン未経験企業・団体へのDM・電話によるアプローチ ・電話対応コンクールの効率化にむけた県大会の事前収録対応

2022年度事業計画(案)について

取組み項目	具体的な取組み
3. 会員サービスの向上等	〔会員サービス向上〕 【1】協会特典(無料施策、無料セミナー等)の提供 標的型攻撃メール訓練サービス、eラーニングサービス、テレワーク導入支援、ビジネスマナー研修やICT・経営トップセミナーの無料施策提供 【2】ICT利活用促進のため最新情報発信 ・HPやメルマガ等を活用したタイムリーな情報発信を継続 ・毎月発行する「テレコムフォーラム誌」への案内資料同梱発送の継続 ⇒研修やイベントの参加募集案内、新規特典含めた会員特典の紹介案内 【3】会員交流施策等の企画・検討(コロナ影響、運営体制を考慮) 〔新規会員勧奨〕 【1】協会役員、商工会議所、商工会、NTTグループ等との連携強化により、新規会員獲得を図る ・会報誌等への協会PRチラシ同梱による訴求等 【2】あらゆる機会を捉えた協会役員様への紹介等のお願い
4. 協会運営の効率化	〔効率的事業運営の推進〕 事業・行事の運営の効率化にむけ、新型コロナ感染対策で培ったオンライン・リモート活用、非対面によるオペレーション、委託化はアフターコロナ後も継続推進 ・オンライン・リモート活用による効率的な事業運営はアフターコロナ後も継続 ・地区協会統合後の大型化した東・西地区協会の円滑な運営にむけた「幹事理事会」「理事総会」の一体開催・書面表決等による運営 ・議案書含めた周知・共有活動のメール・WEB化による効率化・迅速化を推進 ・各種行事の業務委託化、人材派遣社員等活用 ・イベント等参加時の現金収納の廃止化推進(キャッシュレス化)

2022年度事業計画(案)について

5. 年間スケジュール

NO	施策名	主催	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	ICTセミナー・春の講演会	支部・地区	各支部のオンラインセミナー共催等										新春講演会 オンラインセミナー	
2	理事会・総会	支部・地区		支部理事会 書面表決 5月～6月		地区協会 幹事理事・理事総会 書面表決 6月～8月								
3	テレコミュニケーション研修	支部		●フレッシュマン (YouTube)	●クレーム電話対応 ●リーダーシップ ●ビジネスセミナー					●クレーム電話対応 ●リーダーシップ				
		地区						※新設 ●アンガーマネジメント研修		●アサーティブコミュニケーション2回 (東西1回)	●ビジネスコミュニケーション2回 (東西1回)	※新設 ●ハッピートーク活用セミナー (新人向け)	※新設 ●ハッピートーク活用セミナー (指導者向け)	
4	電話対応コンクール (研修・コンクール)	支部・地区		●事前勉強会 ①問題解説研修 ・5/上～7/29 (YouTube) ②スクリプト作成研修 【予定】 ・5/24, 27 (Zoom)	●スクリプト作成研修 【予定】 ・6/3 (Zoom) ●事前勉強会(収録直前研修) 6/22～ (Zoom または個別電話)	●収録直前研修 (Zoomまたは個別電話) ～上旬 (7/1予定) ●対応収録 ・7/28	●対応収録 ～8/5 ●地区審査会 8/29 (県大会参加者決定31名)		●県大会 10/14 ※事前録音は1週間程度前に実施	●全国大会 11/18 (山口県)				
5	もしもし検定4級	支部		●11		●6		●7		●2		●10		●1

各施策は新型コロナウイルス感染症影響による新たな生活様式を踏まえ検討

2022年度事業計画(案)について

6. 2022年度電話対応コンクール予定

千葉県大会

- 1、開催日 2022年10月14日(金)
- 2、開催場所 mBAY POINT幕張(予定) 実施方法は別途
- 3、スケジュール 競技会・表彰式・閉会式等 詳細は別途
- 4、後援 千葉県
株式会社千葉日報社
一般社団法人千葉県商工会議所連合会
千葉県商工会連合会
NTTドコモCS千葉支店
東日本電信電話株式会社千葉事業部
- 5、表彰 優勝(1名)・準優勝(1名)・優秀賞(8名)・新人賞(1名) 計11名

全国大会

- 1、開催日 2022年11月18日(金)
- 2、開催場所 〒754-0041 山口県山口市 小郡令和1丁目1番1号
KDDI維新ホール
- 3、スケジュール
開会式 9:30～ 競技 10:10～
表彰式 17:00～ 懇親会 18:30～
- 4、後援 総務省 日本商工会議所、全国商工会連合会
一般社団法人電気通信事業者協会
一般社団法人日本コールセンター協会
公益財団法人企業情報化協会
東日本電信電話株式会社
西日本電信電話株式会社
株式会社NTTドコモ
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社



自 2022年4月 1日
至 2023年3月31日

(単位:円)

【収入の部】

項目	①2021年度 決算額	②2022年度 予算額	②-① 増減額	備 考
会員受取会費	2,375,000	2,160,000	▲ 215,000	会員減
事業収入	0	0	0	
雑収入	16	16	0	
小計	2,375,016	2,160,016	▲ 215,000	
前年度繰越金	5,006,738	5,006,738	0	
A. 収入合計	7,381,754	7,166,754	▲ 215,000	—

【支出の部】

区分	項目	①2021年度 決算額	②2022年度 予算額	②-① 増減額	備 考
事業費	電話対応競技会	178,004	628,004	450,000	リモート委託業務費用増
	セミナー費等	80,000	400,000	320,000	地区主催セミナー増
	施設見学会費	0	300,000	300,000	会員交流事業追加
	組織強化費	0	0	0	—
	B. 小 計	258,004	1,328,004	1,070,000	—
管理費	会 議 費	64,222	64,222	0	前年度相当
	諸 経 費	78,060	78,060	0	前年度相当
	減価償却費			0	
	C. 小 計	142,282	142,282	0	—
D. 表彰費		-		0	
内部取引	上部費	493,495	570,000	76,505	支部事業増
	法人税等分担費			0	—
	消費税分担費	38,226	38,226	0	前年度相当
	E. 小 計	531,721	608,226	76,505	—
F費用合計=B+C+D+E		932,007	2,078,512	1,146,505	—
G繰越資産=A-F		6,449,747	5,088,242	▲ 1,361,505	

2021年度地区役員等について

役員等改選(案)について(2022年度～2023年度)

会 職	氏 名	事 業 所 名	役 職	旧地区
会 長	片岡 直公	市川商工会議所	会頭	市川
副会長	松戸 徹	船橋市	市長	船橋
副会長 兼監事会計	中山 政明	松戸商工会議所	会頭	松戸
副会長 兼監事会計	小田山 博史	柏商工会議所	会頭	柏
副会長	茂木 佐平治	野田商工会議所	会頭	野田
幹事理事	高木 行雄	浦安商工会議所	専務理事	市川
幹事理事	米山 芳昭	株式会社米山鉄工所	代表取締役社長	市川
幹事理事	白鳥 豊	習志野商工会議所	会頭	船橋
幹事理事	上代 修二	八千代商工会議所	会頭	船橋
幹事理事	井手 勝則	鎌ヶ谷市商工会	会長	船橋
幹事理事	藤田 勝幸	セイコーインスツル株式会社	高塚事業所長	松戸
幹事理事	松川 正	松川産業株式会社	相談役	松戸
幹事理事	田口 佳子	流山商工会議所	会頭	柏
幹事理事	村越 孝一	我孫子市商工会	会長	柏
幹事理事	中屋 智章	柏市沼南商工会	会長	柏
幹事理事	富澤 昇	野田市関宿商工会	会長	野田
幹事理事	山本 章裕	山本建設工業株式会社	相談役	野田
顧 問	松村 悟志	東日本電信電話株式会社 千葉西支店	第二法人営業支店長	—

注) 人事異動等による交代は速やかに実施

注) 旧地区名は省略して表記

千葉西地区協会理事名簿

役職	氏 名	事 業 所 等 名	役 職	旧地区協会
理事	篠田 好造	船橋商工会議所	会頭	船橋・習志野・八千代・鎌ヶ谷白井地区
理事	小久保 歓	小久保製氷冷蔵株式会社	取締役会長	船橋・習志野・八千代・鎌ヶ谷白井地区
理事	平川 昌宏	白井市商工会	会長	船橋・習志野・八千代・鎌ヶ谷白井地区
理事	小倉 義雄	株式会社船橋カントリー倶楽部	代表取締役社長	船橋・習志野・八千代・鎌ヶ谷白井地区
理事	宮本 昌彦	株式会社千葉興業銀行 船橋支店	支店長	船橋・習志野・八千代・鎌ヶ谷白井地区
理事	酒井 正平	東京バイ信用金庫	理事長	市川・浦安行徳地区
理事	羽生 弘	京葉瓦斯株式会社	取締役社長	市川・浦安行徳地区
理事	齊藤 義弘	株式会社スズキ技研	管理部長	市川・浦安行徳地区
理事	今井 秀樹	株式会社オリエンタルランド	IT統括部長	市川・浦安行徳地区
理事	湯浅 健弘	ユトー株式会社	代表取締役社長	市川・浦安行徳地区
理事	中村 政邦	市川企業懇話会	代表	市川・浦安行徳地区
理事	藤田 仁	ブリーズベイホテル株式会社市川グランドホテル	営業推進部長	市川・浦安行徳地区
理事	古賀 智己	日本電気株式会社 我孫子事業場	地区責任者	柏・流山・我孫子・沼南地区
理事	高橋 直資	柏商工会議所	専務理事	柏・流山・我孫子・沼南地区
理事	中嶋 敏彰	株式会社千葉銀行 柏支店	柏支店長	柏・流山・我孫子・沼南地区
理事	泉 ヤエ子	泉商事株式会社	取締役	柏・流山・我孫子・沼南地区
理事	地藏堂 剛	京葉瓦斯株式会社	お客様コールセンターサポートG マネージャー	松戸地区
理事	中村 達	株式会社テックナカムラ	代表取締役	松戸地区
理事	薄葉 博司	松戸商工会議所	専務理事	松戸地区
理事	長江 曜子	株式会社加藤組・石匠あづま家	代表取締役社長	松戸地区
理事	堀井 猛志	株式会社テックナカムラ	常務取締役	松戸地区
理事	大西 達也	株式会社千葉銀行 松戸支店	支店長	松戸地区
理事	針場 広幸	キッコーマン株式会社	総務部長	野田・関宿地区
理事	戸邊 寛	総武物流株式会社	代表取締役社長	野田・関宿地区
理事	家田 真人	株式会社千葉興業銀行 野田支店	支店長	野田・関宿地区
理事	今村 正美	野田ガス株式会社	取締役総務部長	野田・関宿地区
理事	大久保 貞則	野田市役所	総務部長	野田・関宿地区
理事	山本 和也	野田商工会議所	専務理事	野田・関宿地区
理事	茂木 常男	株式会社千秋社	取締役 総務本部長	野田・関宿地区
理事	田中 博	江戸川電子株式会社	相談役	野田・関宿地区
理事	櫻井 正則	株式会社千葉銀行 野田支店	支店長	野田・関宿地区

2020年千葉支部理事会及び各地区協会の理事・総会において、千葉県内10地区協会の統合化を決議、「船橋・習志野・八千代・鎌ヶ谷白井地区」、「市川・浦安行徳地区」、「柏・流山・我孫子・沼南地区」、「松戸地区」、「野田・関宿地区」協会については、2021年度より千葉西地区協会として統合化を行い、旧地区協会理事の皆様には、新地区協会では新たな理事として、地域のオピニオンリーダーとして協会事業への助言・アドバイス等をお願いしています。

日時 2022年7月8日(金) (議案書送付時期)

場所 書面表決のため各事業所

内容 以下のとおり

第一号議案 2021年度事業報告について :承認 (賛成48・反対0)

第二号議案 2021年度収支報告について :承認 (賛成48・反対0)

第三号議案 2021年度会計監査報告について :承認 (賛成48・反対0)

第四号議案 2022年度事業計画(案)について :承認 (賛成48・反対0)

第五号議案 2022年度収支予算(案)について :承認 (賛成48・反対0)

第六号議案 2022年度役員等について :承認 (賛成48・反対0)

【結果】 全ての議案について、全幹事理事及び理事の賛成をもって承認

その他の連絡事項

全ての議案について、全役員の賛成をもって可決されました。
今後も引き続き、地域の皆様にとって役立つ公益財団法人として機能すべく
努力をいたしますので、役員皆様方の会員拡大、各種事業への参画等、更なる
ご支援、ご協力をお願いします。

※議案書・議事録は千葉支部ホームページに掲載

議事録署名人:千葉支部事務局長 川口泰久

